

19日

午前、釜石市大平・平田仮設住宅にて被災者の方々より当時の様子の聞き取りを行う。最後は、握手を交わし、仮設住宅の中も拝見する。



午後、陸前高田市内の震災遺構等を視察し、陸前高田市役所を表敬訪問。戸羽市長の講和を聞き、最後はみんなで合唱する。

津波水位15.1M



20日



午前6時、バスに乗り込み、陸前高田市を出発。午後8時過ぎ、豊中市役所に到着し、解散。

ニュースやネットだけでは分からないこと、知らなかったことをたくさん学ぶことができました。毎日、当たり前にするのがどれだけ幸せかをこのボランティアバスに参加して改めて実感しました。

自分自身が成長できた4日間でした。

1年 辰巳



テレビで見ているなら何も分からないことが、実際に行ってみて、深く考えさせられるものが多かった気がしました。

そんな中で市長さんの話を聞いて、本当は自分達が勇気を分け与えなければならなかったのに逆に大きな勇気をもらった気がしました。

1年 藤井

今回このボランティア活動に参加し、実際に津波によって壊された建物を見ることも、被災された方々から直接お話を聞くことも初めてで、テレビや新聞だけでは知ることのできないことがたくさん知れて、本当に行ってよかったと思いました。

来年も、ぜひたくさんの人に参加してもらいたいです。

1年 周藤



被災自治体の被災者ならびに首長、さらには地元の高校生の話を聞き、多面的な角度から震災を考えることができました。

共通していることは、自分たちのまちを復興させたいということです。そのために、自分の立場を見極め、自分たちが今できることを行動にしていることが印象的でした。特に、生徒と同年代の高校生が、これからのまちの復興は自分たちが中心となるという覚悟を持っていることをひしひしと感じました。

引率教諭 水本